

那須塩原市再生可能エネルギー導入促進に向けたゾーニング事業
第2回地域説明会で頂いたご意見・ご質問

＜四区町＞
日 時：9月1日(金) 会 場：西公民館 参加人数：10人 配布資料：PPT 説明資料、大判図面(太陽光)
1. ゾーニング事業全体に関するご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 那須塩原の特性を生かすという観点が大切。那須塩原は那須疎水が有名なため、ぜひ小水力は活用したい。(観光 PR も含めて) ・ これ以上太陽光による開発は避けたい。市内で風力はまず無理ではないか。 ・ 再エネの目標値は最大出力での計算であり、実際の数値はもっと低いため、考慮が必要である。 ・ 再エネにも様々な種類があり、効率や費用対効果が良いものを進めてほしい。 ・ 地域に利益をもたらす事業であることをもっと PR するとよい。 ・ ゾーニングの取り組み自体は賛成だが、市としてどのように太陽光発電を導入していくのかよくわからない。 ・ ゾーニングには強制力があるのか。強制力がないのであればゾーニングを無視して安い土地で事業を始めてしまうのではないか。 ・ 様々な地域貢献策の例を挙げているが、実現性はあるのか。ゾーニングと併せて地域へのメリットも検討してほしい。 ・ 何 kW 発電することを想定しているのか。四区町ではメガソーラーの設置は難しいと思う。遊休農地や工場跡地等の小さい面積の土地を集めて事業が成り立つのか。
2. エリアの条件や配慮事項に関するご意見
<p>(1) 景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観が一番問題である。 ・ 那須高原は観光地でもあるため景観への配慮が大切だと思う。特に四区町の近くには高速道路の IC もあり、多くの太陽光パネルが観光客の目に入るのは残念。 ・ 規模によっては、フェンスでなく樹木を植栽する等、景観に配慮してほしい。 ・ 青木地区の平地林は日本有数の場所であった。市民の誇りでもあるため守りたい。 <p>(2) 農地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地を潰しての太陽光発電はやめて欲しいが、耕作放棄地や荒れ地の有効活用ができると良いと思う。 ・ 四区町は高齢化により年々農業従事者が減少しており、耕作放棄地や荒れ地が増える可能性が高い。実際に田んぼをやめて花木にしたが、現在は、延びきってしまい管

理が難しい状態。

- ・ 農地転用のハードルが高く、耕作放棄地や荒れ地の有効活用の支障になっている。

(3) 太陽光パネルの導入

- ・ 市有地を活用できないか。工業団地内にある調整池（普段はグランド）は市の土地ではないか。パネルの設置ができないか。
- ・ 太陽光パネルの設置は優先順位をつけてほしい。できれば公共施設や工場に優先して設置してほしい。
- ・ パネルを設置するのであれば、パネルの下を有効に利用できる方法がいい。
- ・ ソーラーカーポートは良いと思う。四区町に大きい駐車場はないが、公民館や工場、学校などの駐車場には導入してもよいと思う。
- ・ 住宅に近いところも配慮調整エリア（事業性あり）として抽出されているが、設置前にきちんと近くの住民の方へ説明してほしい。

(4) パネル設置後の懸念点

- ・ 太陽光パネルの処分が問題になっている。対策をしっかりとしてほしい。国で取り組む内容かもしれないが市としても積極的に対処する姿勢を PR できるとよい。
- ・ パソコンが 15 年程度でダメになると聞いた。太陽光パネルと併せてそのまま放置されないか心配。
- ・ 導入後に、草刈りなどのメンテナンスがちゃんと行われるのか不安。管理をしっかりとしていただけると事業者に入っていただきたい。

(5) 水力発電

- ・ 小水力は水利権などの問題はあると思うが、市が調整役となれば解決できる問題だと思う。
- ・ 先日、水路で魚をとっている人を見かけた。水力発電を設置する場合は、生息している魚などに影響のないようにしてほしい。

(6) その他

- ・ 技術革新も踏まえて検討するべき。例えば、営農型等は透過型の太陽光パネルも開発されているのでそれを活用すれば、日差しを遮ることなく農作物を育てることもできるのではないかと。小水力のデメリットについても、ごみの除去を自動化するなどできないのか。

3. その他ご意見・質問

- ・ 効率の良い発電手法に関して、設備利用率×導入費用を出すなどの資料も出してほしい。

- ・ 米原市のように導入検討区域を市が用地買収することはできないのか。
- ・ 使用していない農地について、市が介入し農地転用することで再エネに利用できる用地を確保できないのか。
- ・ ゼロカーボンには民間企業の協力が不可欠。事業性を確保できるように市が調整する必要がある。
- ・ 太陽光を導入していくに当たり、市で用意している事業者や家庭への補助は何かあるか。
- ・ 最終的には地主の意向が重要になる。
- ・ 高速道路周辺は騒音が大きく、少し前に防音壁を延長してもらった。近くより遠くの音の方が届く。周辺は二重窓の家が多い。
- ・ 地域説明会は四区町以外ではどこで開催されるのか。四区町以外での説明会はあるのか。
- ・ 全体の事業としては何年くらいかけて進めていくのか。
- ・ 地域説明会の時間は1時間程度がよいと思う。終了時間は開催案内に記載すべき。

<金沢・宇都野>	
日	時：9月5日(火)
会	場：宇都野集落センター
参加人数	：8人
配布資料	：PPT説明資料、大判図面(風力)
1. ゾーニング事業全体に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも市内で風力発電は難しいと思う。事業性が本当にあるのか疑問である。太陽光発電の導入は考えられると思う。 ・ 地元への貢献やメリットはないのか。導入に当たっては地域へのメリットがあるように考えてほしい。 ・ 電力が地域新電力に供給されるのであればいいと思う。 ・ 地域内での電力消費が望ましい。 ・ 再生可能エネルギー設備が負の遺産にならないようにしてほしい。 	
2. エリアの条件や配慮事項に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観、低周波音は懸念される。 ・ 途中で撤退する際に、そのままにしていく（やり逃げ）はやめてほしい。それらを規制する条例等がほしい。 ・ 景観に関しては山のほうであればあまり気にならない。 ・ 風車の検討は山側の方は可能かと思う。住宅地寄りの方はできれば避けてほしい。 ・ 風力発電は、低周波音の問題を一時期ニュースで聞いたことがあり、懸念している。 ・ 風車の影が気になる。 ・ 風力発電を検討するには林道が狭すぎるので拡幅する必要があると思う。 ・ 過去に山の上の方で道路を作った際に鳥獣が市街地に降りてきて問題になった。風力発電も同様のことが起きるのではないかと懸念している。 ・ 山の方から水を引いている集落はない。井戸を使っている家はないと思う。 ・ 風力発電も太陽光発電も事業を始めてから途中で撤退（やり逃げのような形）とならないように事業者には責任を持ってやってほしい。市の方で条例や決まりを作るなどしてもらえるといい。 ・ 土地の所有者がいる中で保全になっているところの扱いを明確にしてほしい。 ・ 太陽光発電でも音の問題はあると聞いた。 	
3. その他ご意見・質問	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図は、公図に合うような正確なものであるべきである。 ・ 太陽光ゾーニングマップで、保全対象となっている”緑地”とはどういう条件か。個人で太陽光発電設置を申請したが、田畑は農振地域を外せば OK といわれている。近くに「緑地指定」の場所があり、そこには設置できないと言われているが、「緑地指 	

定」とはどのような範囲か。

<関谷>

日 時：9月6日(水)

会 場：ハロープラザ

参加人数：10人

配布資料：PPT説明資料、大判図面(太陽光)

1. ゾーニング事業全体に関するご意見

- ・ 那須疎水を活用した小水力発電をもっと進められないか。土地改良区以外の民間事業者も事業に参加できるとよい。以前、宮崎建設が小水力を検討していた。
- ・ 太陽光や風力だけでなく、水力発電や地中熱発電を優先して導入してほしい。
- ・ 2030年までに間に合うのか。個人住宅にも補助金を出したほうがよいのではないか。
- ・ ゾーニングでゼロカーボンが実現するのか疑問。
- ・ 既に開発が進んでいるため、早く規制してほしい。
- ・ 再エネを促進するところに事業者が来るのではないか。規制などは可能なのか。
- ・ ゾーニングは規制をかけるものだとイメージしていた。
- ・ 青木地区と同様に地産地消をするのか。
- ・ 電力の地産地消をしてほしい。
- ・ 地区ごとに、電気使用量とそれに対する導入目標を整理するべきだと思う。送電にもロスがあるため、電気を多く使う地域の分も関谷で発電することは、好ましくない。
- ・ メリットが市内全体ではなく関谷だけにあるのであれば促進区域としても良いと思う。
- ・ 地域にメリットがあるのであれば促進区域に設定してもいいと思う。
- ・ 地域への貢献策について、災害時の電源共有ができれば、ありがたい。
- ・ 日の出の営農型太陽光は地域貢献に有効ではないか。

2. エリアの条件や配慮事項に関するご意見

(1) 農地・酪農

- ・ 農家の高齢化が進んでいるので農地は余っているのではないか。
- ・ 太陽光と農地が共存する営農型は良い取り組みだと思う。
- ・ 那須塩原市は酪農が盛んである。今年の夏は特に暑く、牛舎の冷房にお金がかかった。発電した電気を酪農施設で使うのもいいと思う。
- ・ 酪農に影響が出ない範囲で牧草地を活用できないか。その場合、慎重に話を進める必要があると思う。

(2) 太陽光パネルの設置

- ・ 特に気になるのは景観と反射光である。パネルを設置するのであれば樹木で隠すなどの配慮はしていただきたい。
- ・ 太陽光発電は景観上の問題もあり住宅地周辺では避けた方が良いが、日の出地区な

どであれば住宅も少なく景観上の問題は少ないと思う。

- ・ 電気をよく使う市街地や工業団地に優先して導入するべきである。
- ・ 伐採を伴う開発は地面の保水力の低下につながる。最近平地林の伐採を伴う太陽光発電が急増したが、これは、日の出 2 号線 3 号線が水であふれている原因になっているのではないか。
- ・ 関谷地区は大雨がふると水が集まって流れ、道路が冠水するような立地であるため、この地区で太陽光パネルが増えると更に透水に影響を与えないか心配である。

(3) パネルの設置後の懸念点

- ・ 発電だけでなく処分の方法はあるのか。後始末についても指導してほしい。
- ・ 発電事業が終わった後はパネルの適正処分までしっかりやっていただきたい。

(4) 太陽光以外の再エネ

- ・ 安戸山に風力のポテンシャルがあることになっているが、音の影響は無いのか。
- ・ 蛇尾川ダムや八汐ダムは使われていないので水面にパネルを置けるのではないか。八汐ダムでは東電が揚水発電をしている。
- ・ 既に小水力発電が設置されており、この業者と協力して太陽光も検討できないか。
- ・ 地中は地上より温度が低い。地中熱を利用して夏の牛舎の冷却に利用すればいいと思う。
- ・ 地熱発電は音が大きいので、推進してほしくない。
- ・ 日の出の糞尿処理場はバイオマス発電を導入してもよいのではないか。
- ・ 糞尿を利用したバイオガス発電についても進めてほしい。その場合、臭いは大きな問題になるのでその点は懸念している。

3. その他ご意見・質問

- ・ メガソーラーの計画地はマップに反映しているのか。
- ・ 東電が蓄電機を設置する計画がある。(10MW×10 台程度)
- ・ 折戸地区では既に太陽光発電の計画が進んでいる。
- ・ 民間の企業に電力を買わせてはどうか。
- ・ 植物を増やしていくという考え方はないのか。再エネ導入と合わせて、吸収源である森林の保全・整備も重要である。
- ・ 送電線の空きの問題も考えると、蓄電池の導入は有効であると思う。
- ・ 蓄電池設置に係る補助金は出るのか。関谷にも蓄電池設置の補助金が欲しい。

以上